



## 冬期講座 すぐに役立つ講話と実践発表！

令和7年(巳年)がスタートしました。蛇が脱皮を繰り返すことに由来し、「生命力、再生、変化、進化」の象徴とされているようです。新しい自分に出会える年、チャレンジする年にしていきたいですね。

さて、「学び続ける教師」を目指している教育研究所では、令和4年度から冬期講座も開催しています。年々、受講者も増え、今年度は「心理技法ロールレタリング」「浦添市の歴史探訪」「これからの校内研」「iPadの活用法(中級編)」の4講座に、こども園、小中学校等から延べ91名の参加がありました。

参加者からは、「研究所の講座を受講した先生が、校内で目をキラキラさせて話している様子を見て、自分も参加してみようという気持ちになった。」「これまでは、公私共に忙しいことを理由にしていたが、時間は自分で作るものだ」と改めて実感した。」等の声が寄せられました。教職員の困り感やニーズに合わせた研修、いつでもだれでも、どこでもできる研修内容は、好評でした。

### ○心理技法 ロールレタリング

- ・心の声を文字にすることで自分の本当の気持ちを知ることができ、返事を書くことで相手の立場に考える機会になる。

### ○浦添の歴史探訪(浦添城址、ようどれ)

- ・浦添の名前の由来、中国との交流、石畳ようどれの事など、知らないことだらけだった。植物のことも楽しめた。
- ・浦添の文化を大切に誇りを持ち、子どもたちにも伝えていきたい。

### ○これからの校内研(授業リフレクション)

- ・心理的安全性、支持的風土づくりが、職員のエンジェンシーを高めるとわかった。
- ・いろんな人の想いを聞くことで視野が広がり、自分を振り返ることができる。こ小・小中連携にも生かすことができる。

## ☆ 学力向上 自立した学習者の育成 ☆

今年度は「沖縄県学力向上推進プランⅡ」の総括期となります。自立した学習者の育成として「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」「学習基盤としての ICT 活用の取組」等を推進しています。教育研究所の研究協力員や長期研究員等も、その視点を大切にしながら各自の研究に取り組んでいます。

### ① 研究協力員(小学校3名、中学校2名)

ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実では、各研究員が、単元計画やワークシートの工夫を行い、自由進度学習等で進めています。児童生徒は自分自身のメタ認知を働かせ調整する力が、教師は児童生徒の学びを的確に見取る力が重要になります。学習課題や学習方法、学習の場の選択により、主体的な学習が展開されています。

### ② 長期研究員(こども園1名、小中学校各1名)

小学校算数科では、「子どもたちが統合的・発展的な考え方を働かせる個別最適で協働的な学び」の研究に取り組んでいます。

こども園では、好奇心や探究心を育む環境構成の工夫を行い、「自立した学習者」につながる幼児期の学びを大切に研究、中学校では、「自立した学習者」の育成を支える安全・安心な風土の醸成として、学級活動の研究に取り組んでいます。

### ③ ICTエバンジェリスト(小中学校19名)

タブレット端末や電子黒板の活用積極的に取り組み、校内での普及と好事例の紹介に貢献しています。本市では「授業において週3日以上活用」が全国平均以上となっており、授業改善にも繋がっています。



浦添市立  
教育研究所  
Web ページ



※研究所の業務内容の周知や共通理解のために、所報(奇数月)を発行しますので回覧をお願いします。